



民間交番(奥)の開所式で記念テープを切る  
佐藤会長(左端)ら

相模原市上鶴間本町3丁目

違法風俗店が密集していたJR町田駅前の通称「たんぼ」地区跡(相模原市上鶴間本町)に民間交番「さがみはら安全安心ステーション」が完成し、1日に開所式が行われた。平日の昼間は警察官OBが常駐し、パトロールなどを実施するといふ。  
(戸田 貴也)

07-12/2 神奈川  
**後戻りさせない**

**民間交番が開所**

**相模原の「たんぼ」跡**

同地区では違法風俗店が県警の摘発で少なくなつた二〇〇〇年から、ポランティアの防犯団体が「環境を後戻りさせてはならない」と交番設置を要望。ことし四月の暴力団組員による発砲、殺人事件を機に、既存の交番立ち寄り所を相模原市の補助金で改築、民間交番が設置された。

開所式には加山俊夫市長や相模原南署の早川正行署長、同地区で活動する市民団体「JR町田駅南口を明るく犯罪のない街にする連絡調整会」の佐藤萬行会長ら約五十人が出席。

早川署長は「市の協力のおかげ。警察も新たな気持ちで違法風俗店の摘発に努めたい」とあいさつ。佐藤会長は「堅苦しく考えないで、情報交換の場として多くの市民が使うてくれれば」と話した。

同ステーションは、平日午前九時から午後四時まで、警察官OBの市職員や相模原南署の交番相談員が入れ替わりで常駐し、夜間や休日は定期的に同署員が立ち寄る。市民団体側は、活動に賛同する住民を募り、同ステーションでの防犯講話の開催などを検討している。

相模原・県央・県西